

国語	課題分析 (学力調査結果、定期考査、授業の実態等)	授業改善策	新学習指導要領に向けて	評価(◎○△)
1年	<p>【定期考査や1学期の生徒実態からみえる課題】</p> <p>○基礎学力が身につけており課題に積極的に取り組むことができる生徒と基礎学力が十分に身につけていない生徒が併存しており、授業でも配慮を要する生徒が各学級に複数名在籍する。定期考査の結果を見ても二極化の傾向がある。</p> <p>○小テストと定期考査の結果から、知識を習得してはいるが、その知識を活用できていない。話し合いや作文などで知識の活用を促す。</p> <p>○話す・聞く分野での基礎は概ね小学校で定着しており、少人数での意見交換や相互評価などに積極的に取り組むことができる生徒が少なくない。また、授業中の発言などから、授業に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○家庭学習も着実にこなしている生徒と十分に行えない生徒がおり、継続的な指導が必要である。</p>	<p>【言語事項】</p> <p>○毎時間、授業の初めに、漢字練習の時間を設け、決められた範囲で小テストを行う。</p> <p>【書く力・読む力】</p> <p>○単元が終わることに要約文や課題作文、関連図などを書き、文章構造を把握させる。</p> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○本の紹介や意見発表の際に、リハーサルを行い、相手の反応を踏まえたうえで発表する。</p>	<p>【知識及び言語事項】</p> <p>○都道府県に用いる漢字の読みと書きを定着させる。</p> <p>○語句の辞書的な意味と文脈上の意味の使い分けができるように指導する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○日常生活の中から話題を決め、体験したことや既知の情報や集めた情報を整理し、伝える内容を検討できるように指導する。</p> <p>○根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫できるように指導する。</p> <p>○説明文や記録などの文章から自分の考えや理解したことをまとめることができるように指導する。</p>	
2年	<p>【学力調査からみえる課題】</p> <p>○概ね真面目に授業に臨んでおり、積極的に課題に取り組む生徒がいる一方で、教科書を開く、ノートをとるなどの基本的な学習に対する姿勢を保つことが難しい生徒がいる。着実に基礎学力を身に付け、応用力を伸ばしている生徒がいる一方で、基礎学力が定着していないと思われる生徒も少なくない。</p> <p>○東京都の学力調査でも各観点で概ね東京都の平均を0.3～3.3ポイント上回っているが、合計正答数の人数分布でも同様の結果が見られ、授業の進行に配慮が必要がある。</p> <p>○また、学力調査で正答率が8割を下回った問題は小学校6年までに学習した漢字の読み書き、歴史的仮名遣い、小説の読解での登場人物の描写や気持ちの変化の理由、書き手の考えの進め方を考える、目的や意図に応じて集めた材料を元に自分の考えをまとめること、図表やグラフなどを効果的に用いること、話し合いでの確認や助言、話題や目的を意識して話したり聞いたりしながら自分の考えをまとめること、などがあった。</p>	<p>【言語事項】</p> <p>○毎時間、次回の漢字テストの範囲を予告し、音読、空書き、板書等を通じて的確に読み書きができるよう指導し、次の時間の冒頭4～8分を用いて漢字のミニテストを行い、基礎の定着を図る。また、小学校6年生までに習得した漢字についても間違えやすいものを中心に適宜復習の機会を持つ。</p> <p>【書く力・読む力】</p> <p>○グラフや図、資料などを効果的に用いて自分の意見を効果的に伝えられるよう、文章を図示したり、逆に図や資料を読み取ったことばをわかりやすく文章にしたりする演習を適宜行う。</p> <p>○着実に伸びている論理的な文章を的確に読み取る力をさらに伸ばし、学力調査で課題となった登場人物の意図や心情を読み取る力を伸ばすため、授業でも適切な学習材を吟味し、表現に着目して登場人物の心情を繊細に把握する演習を行う。</p> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○授業での話し合いでは、目的や意図に応じた材料を効果的に用いる演習を行うとともに、話題や目的を意識することに重点をおく。</p>	<p>【知識及び言語事項】</p> <p>○習得した漢字を実際に使えるよう、さまざまな例文の中の熟語として覚えるとともに例文作成などを通じて文の中で使う練習をする。</p> <p>○抽象的な概念を表す語句の解説に重点を置き、概念の理解を促進する。</p> <p>○授業だけでなく日常の学校生活で相手への尊敬・尊重の念に立った敬語を日常的に使用する言語環境の醸成に努める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○授業の中で様々な社会的な話題に触れ、多種多様な見方の中で自分の意見を持ち、様々な題材を用いて効果的に自分の意見を伝えることができるよう、話し合いや討論の機会を設ける。</p> <p>○さまざまな文章にふれ、互いの意見や感想を述べ合う機会を持つことで、互いに考えを広げたり深めたりする機会を設ける。</p>	
3年	<p>【学力調査からみえる課題】</p> <p>○漢文・語句・文法等の基礎学力は、少しずつだが定着が図られてきた。しかし、まだ不十分な生徒もいる。</p> <p>○与えられた情報の中から必要な情報を正確に取り出す力、複雑な内容の文章の構成を確認し、整理して読む力が、まだ十分身につけていない。</p> <p>○自分の考えを自分の言葉で表現することを苦手としている生徒が多い。</p>	<p>【言語事項】</p> <p>○毎時間、授業の初めに、漢字練習や文法の基本事項の確認などを時間を設ける。</p> <p>【書く力・読む力】</p> <p>○説明的文章、文学的文章それぞれに、文章を読み解くためのスキルを身につけさせる工夫をする。</p> <p>○毎時間、授業終了5分前からまとめの時間をとり、振り返りをさせる。また、その時間に学習記録を書かせ、自分の言葉で表現する練習をさせる。</p>	<p>【知識及び言語事項】</p> <p>○小学校学習漢字を正しく書き、常用漢字の大体を読めるようにさせる。</p> <p>○理解したり表現したりするために必要な語句を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えられるようにさせる。</p> <p>○目的や意図に応じて、伝えたいことを明確に書けるようにさせる。</p> <p>○自分の考えを分かりやすく伝える文章が書けるように、表現の仕方などを身につけさせる。</p>	